

地域

魅力あふれるまち、熊本



熊本観光案内はお任せ!

4カ国語(日・英・中・韓)で案内
熊本市内のタクシー 500台に搭載

熊本版
「**ココロのたまご**」
～観光事業への挑戦～ vol.6

デジタルサイネージ(電子看板) 展開も視野に
「シティガイド熊本」発行の井上嘉祥さん

▲縦位置ハイビジョンのデジタルサイネージ試作版を説明する井上嘉祥さん。左からネット接続が可能なコンピューター組み込み型、タッチパネル操作で4カ国語観光案内を再生するメモリーカード内蔵タイプ、メモリーカードの動画を表示する“動く看板”タイプ。右端は株式会社ツカサ創研(淵田俊郎社長)が製作した縦型モニターを組み込んだディスプレイウォール(嘉島リパソンのツカサ創研で)



▲旭タクシーの車両に取り付けられた4カ国語観光案内のタッチモニター(10.1インチワイド液晶)



▲4カ国語観光案内システムのタクシー車載用「タッチモニター」。熊本の観光案内が日・中(北京語)・韓・英4カ国語でアナウンスされる

案内をするのは難しい」と話す。小野克洋部長は、「いいシステムだ」と思う。乗務員が海外のお客様に観光案内をするのは難しい」と話す。

「今後増える外国からのお客様にも、熊本の素晴らしさを伝えられると思います」
観光情報誌「シティガイド」発行人の井上嘉祥さんは、このほどメディアを活用からハイビジョン動画へ切り替えた。本業は、テレビキー局や地場民放局から受注する映像制作。昨年からはジェトロの紹介で、ディスプレイなどハードの調達に台湾や中国に頻りに足を運び準備を進めてきた。タッチパネル操作で熊本の観光情報を日・中・韓・英4カ国語で案内する「タッチモニター」を、熊本市内のタクシーに取り付ける作業を進めており、5月の連休明けには500台になる予定だ。60台に取り付ける旭タクシー(赤池賢太郎社長)の小野克洋部長は、「いいシステムだ」と思う。乗務員が海外のお客様に観光案内をするのは難しい」と話す。

「薬草の6次産業化」に挑戦



合志市の農家のビニールハウスで芽を出した甘草。この後、同市内と湯前町の試験圃場に移植された(4月14日、合志市下群で)

「健康ファクトリー構想」で新日本製薬と包括的連携協定

合志市



▲4月5日、熊本県庁であった協定調印式を終え握手する(左から)荒木義行合志市長、後藤孝洋新日本製薬社長、真崎伸一県新産業振興局長

合志市と健康食品、化粧品、医薬品の製造・通販を手掛ける新日本製薬(福岡市)は4月5日、「甘草(かんそう)」など薬用植物の研究開発、栽培技術の確立や製品化などに関する包括的連携協定を結んだ。
漢方薬原料や、みそ、しょうゆなどの甘味料として広く使われているが、大半を中国などからの輸入に頼っている甘草の栽培技術を確立し、国内商業生産を目指す。今後、合志市と湯前町で約2年かけ試験栽培を実施、栽培技術を研究する。甘草は荒地でも育つため耕作放棄地を活用できる可能性がある。
同社では、新潟、青森、島根各県でも甘草の栽培を計画しており、3年、4年後をメドに4地域合計で栽培面積を200haに拡大、輸入量の約1割に当たる200tの生産を目指す。

田中 純二さん(53)
大矢野自動車学校 校長
(上天草市大矢野町)

31年間教習の現場に携わり、4月に校長に就任しました。高齢者、初心者などを対象とした講習やエコドライブ講習など各種教習を実施しています。地域の交通安全センターとして車社会の見本となる運転手を育てることが使命です。

元気発信!

熊野 潤一さん(45)
JTB九州 熊本支店 支店長
(熊本市下通1丁目)

2月の着任早々に震災が発生しましたが、4月以降は回復基調となっています。7月末のスペインチャーター便、10月の「ねんりんピック」を重点企画しつつ、今後は県外からの誘客を念頭において地域を元気にしていきたいですね。

元気発信!

糸魚川 寛水さん(45)
キリンビール 熊本支社 支社長
(熊本市辛島町)

今年春から熊本支社長となりました。初めて訪れた熊本ですが、想像以上に大きな都市だという印象を受けています。熊本を盛り上げて熊本に貢献できるような仕事をし、地震で被災した東北地方にも元気を届けていきたいですね。

元気発信!

佐藤 大三さん(54)
光多制服 社長
(熊本市大江3丁目)

30年ぶりの帰郷で、変化に驚いています。学校制服の3年間無料補正サービスを実施しているほか、着用後の制服を植栽用プランターなどに再利用するなどの活動も行っています。地域密着型戦略を推進し、九州全域に拡充したいですね。

元気発信!

伊東 正寿さん(44)
ITOU企画 代表
(益城町田原)

22年間の流通業経験を生かし、流通・農工商連携コンサルティング業を開業しました。商品開発やイベント企画などニーズに合わせたプランで支援を行っており、顧問契約も増えつつあります。今後は特に農工商連携に力を入れたいですね。

元気発信!

白水 英樹さん(38)
KumamotoBMW 本社ショールーム 店長
(熊本市飛田4丁目)

12年間の熊本インター店勤務を経て就任しました。多くのお客様にご来店していただけるようなイベントも企画していきたいですね。スタッフには車以外でのつながりの大切さを伝え、お客さま対応に磨きをかけていきます。

元気発信!

赤木 純児さん(56)
玉名地域保健医療センター 院長
(玉名市玉名)

神経内科が加わり9診療科目となり、医師も6人新たに加わりました。熊本市と同レベルの医療を提供できることをアピールすることで、玉名完結型医療のイメージを浸透させ、地域住民の安心な暮らしに貢献していきます。

元気発信!

瀬口 豊さん(60)
熊本県環境整備協会 事務局長
(熊本市水前寺1丁目)

4月に着任しました。以前は県で企業誘致対策などを担当しており、若者のキャリアアップなども気に掛けていました。世帯の成長とともにその人のキャリアも伸びていくような環境づくりのお手伝いをしていきたいですね。

元気発信!